

令和6年度下半期 指定管理者管理運営状況シート

●施設の概要

施設名	長良川国際会議場	所管課	観光コンベンション課
所在地	岐阜市長良福光2695番地2		
指定管理者名	トリニティぎふ 代表構成員:一般財団法人岐阜市公共ホール管理財団 理事長 中村源次郎		
指定期間	令和4年4月1日 ～ 令和9年3月31日		
選定方法	<input checked="" type="checkbox"/> 公募 <input type="checkbox"/> 非公募		
料金制	<input type="checkbox"/> 使用料 <input checked="" type="checkbox"/> 利用料金 <input type="checkbox"/> 料金徴収なし		
指定管理委託料(年額)	149,215,660円(当初+補填) 139,690,947円(精算後)		
施設の設置目的	国際コンベンション都市づくりの拠点として、国際交流をはじめとする地域間交流を促進することにより、産業、学術及び文化の向上に資する		
施設概要	鉄筋コンクリート造地下1階地上5階建、床面積:19,264.52㎡ メインホール、練習室、国際会議室、大会議室、会議室(5室)、特別会議室、駐車場		

●利用状況

		R6下半期	R6上半期	R5下半期	R5上半期	R4下半期
利用者数(単位:人)		42,559	97,133	92,088	97,442	100,098
各室稼働状況(%)	メインホール	77.8	58.0	50.6	57.7	57.8
	練習室	35.2	21.8	19.5	25.0	24.2
	国際会議室	56.9	38.7	43.6	41.1	39.3
	大会議室	62.3	47.8	46.8	53.5	50.8
	第1～5会議室	47.3	32.1	30.5	33.4	33.3
	特別会議室	41.1	23.6	19.1	25.1	20.9

※R6下半期は、12月2日より工事休館のため、10月1日～12月1日までの稼働状況

●業務の履行確認

区分	確認事項	履行状況
利用者サービス	①供用日・供用時間及び使用許可基準の遵守 ②適切な人員配置及び人材研修の実施 ③広報の方策 ④利用者からの意見を聴くためのアンケートボックスの設置 ⑤苦情への対応	①遵守しており、適切な運用が行われている。 ②利用者サービスの提供に支障のない適切な人員配置となっている。業務を適切に遂行できるよう、適宜研修を実施している。 ③ホームページや広報誌、SNSを活用した広報活動を実施している。 ④来館者に対し、アンケートボックスの設置やWebアンケートの案内を行い、積極的に意見聴取に取り組んでいる。 ⑤苦情や要望に対し、適切に対応している。
自主事業・共催事業	①2企画以上の自主事業の実施 ②2企画以上の共催事業の実施(全日本学生落語選手権「策伝大賞」と策伝大賞開催記念「春待ち二人会」の2事業以外で2企画以上)	①下半期未実施 ②共催事業 ※工事休館のため、他施設にて開催 ・第22回全日本学生落語選手権『策伝大賞』 開催日:〈予選〉令和7年2月14日(金) ※岐阜市文化センター 〈決勝〉令和7年2月15日(土) ※岐阜市民会館 入場者:〈決勝〉1017人 出場者:〈エントリー〉56大学132人 〈決勝〉7大学8人 ・第22回全日本学生落語選手権『策伝大賞』開催記念「文枝・志の輔 春待ち二人会」 開催日:令和7年2月16日(日) ※岐阜市民会館 入場者:1367人
施設管理	①施設及び設備等の管理 ②施設内の清掃業務 ③設備の保守点検業務	①巡視・点検を随時行い、適切に管理している。 ②日常清掃、定期清掃を実施している。 ③保守点検業務を適切に実施している。
施設修繕	下記の観点からの修繕実施状況 ・迅速な修繕の実施 ・指定管理者のノウハウを生かした修繕・整備	日常業務の中で施設の状況を把握し、適切な修繕を実施している。 ・冷温水発生機修繕 ・ガバナールームガス漏れ火災警報設備機器修繕 ・地下駐車場排気ファン修繕 他
危機管理・法令遵守	①個人情報の保護 ②非常時の対応策 ③関係法令の遵守	①条例等を遵守し、適切に対応している。また、マイナンバーの取扱いについて、特定個人情報保護規定を作成・運用している。 ②防災訓練の実施など、緊急時に迅速に対応できるよう努めている。 ③関係法令を遵守した運営を行っている。

●利用者評価

利用者アンケートの実施状況	＜施設利用者＞ 新規利用者や、頻繁にご利用いただくリピーターは週ごとに利用状況を確認するなど利用頻度に合わせてアンケートを配布し、計画的に実施しています。 ＜来館者＞ 直接職員に伝えにくい意見等を収集できるよう、館内の3か所にアンケートボックスを設置するとともに、オンラインアンケートも実施しています。 下半期は、全5件中、4件がオンライン回答でした。 ＜自主(共催)事業＞ 令和6年度下半期は、2月に共催事業「文枝・志の輔春待ち二人会」を実施し、参加者アンケートを実施しました。
利用者アンケートの実施結果	＜ソフト面＞ 施設利用者及び来館者のアンケートでは、全て「大変満足」「満足」の評価でした。 共催事業「文枝・志の輔春待ち二人会」のアンケート(511件)では、「大変満足」「満足」の回答が99%と、来場者から非常に高い評価を得ています。 ＜ハード面＞ 施設利用者のアンケートでは、全て「大変満足」「満足」「ほぼ満足」の評価でした。
利用者からの要望・苦情と対処・改善	令和6年度下半期の開館期間内では、具体的な要望・苦情はありませんでした。

●指定管理者の選定基準に基づく評価

区 分	選定基準	評 価 項 目	具体的な業務要求水準	評 価		
				指定 管理者	所管課	評価 委員会
公平性 透明性	住民の平等利用が確保されること	平等利用を確保するための体制、モニタリングなど	・条例等に基づいた管理運営が適正に行われているか。また、そのためのモニタリングは実施されているか。	A	A	A
		個人情報の保護等	・個人情報の保護についての管理対策は適切に実施されているか。	S	S	S
		広報の方策	・平等利用のための適切な広報活動ができているか。	S	S	S
		情報公開	・市の情報公開制度に基づき適切に実施されているか。	A	A	A
		区 分 評 価				
	効果性	対象施設の効用（設置目的）を最大限発揮されるものであること	事業計画の履行状況	・実施計画どおりに事業が実施されたか。また、計画どおりの成果があったか。	A	A
既存業務の改善、工夫又は新規の魅力的な提案の有無			・業務内容を常に見直し、業務改善に取り組んでいるか。	S	S	S
指定事業・自主事業（・共催事業）の内容			・施設の設置目的にあった事業となっているか。成果があったか。指定管理者の有する人材・ネットワーク・経験を活かすことができたか。	A	A	A
利用者ニーズ、苦情などの把握方法及びサービスの質を確保するための体制			・利用者ニーズ等を把握するために、アンケート調査等を実施しているか。また、寄せられた意見に対しては、適切に対応しているか。運営に反映しているか。	A	A	A
利用促進、利用者増の方策			・積極的な広告宣伝の実施により、利用者の拡大を図っているか。	S	S	S
区 分 評 価					A	
効率性	管理経費の縮減が図られるものであること	管理経費縮減の具体的方策	・具体的な経費削減の方策を掲げ、管理経費の縮減が図られているか。	A	A	A
		予算執行の適正	・適正に執行しているか。また、不要な予算の執行をしていないか。	A	A	A
		スタッフ配置の妥当性	・過不足なく適正な人数を配置し、無理のないスタッフ体制となっているか。	S	S	S
		区 分 評 価				
安定性 安全性	管理を安定して行う物的能力、人的能力を有していること	組織及びスタッフ（採用予定者も含む）の経歴、保有する資格、ノウハウ、専門知識等	・各分野での専門知識、経歴や資格を有するスタッフを配置しているか。	A	A	A
		スタッフの管理、監督体制・人材育成の方策	・職員の管理は適切に行われているか。また、人材の育成体制は整備され、適切に実施されているか。	S	S	S
		緊急時の対応	・事故、災害等緊急時の対策、対応は適切か。	S	S	S
		グループ応募（コンソーシアム）の場合、グループの安定性	・コンソーシアムの構成団体本体の経営基盤は安定しており、リスクに対応する十分な体制が整備されているとともに十分な対応がとられているか。また、コンソーシアム内の連携が取られているか。	A	A	A
		施設の管理	・施設の保守、点検等適切に実施しているか。	A	A	A
	区 分 評 価					A
貢献性	岐阜市あるいは施設がある特定の地域（以下「地元」という。）の振興、活性化などに貢献できるものであること	地元の法人その他の団体の育成（一部業務の再委託先）	・業務の再委託先は、原則、地元業者の中から採用しているか。	A	A	A
		その他地元への貢献に関すること	・地域の振興、活性化に貢献する活動が行われているか。	A	A	A
		区 分 評 価				

## ●指定管理者の取組みに対する自己評価(良否、課題と解決策など)

<p>今期の取組み に対する評価</p>	<p>令和6年12月2日からの工事休館のため、下半期の開館期間は2ヶ月と1日でした。その中でも、「第39回国民文化祭・第24回全国障害者芸術・文化祭」や「第35回全国介護老人保健施設大会」など、学会6件を含む大型催事の利用が多く、利用料収入は2ヶ月と1日の稼働で年間総収入のほぼ3分の1となりました。</p> <p>1、新たな利用者の開拓とリピーターの確保に努めました。  ①ホームページでの予約状況の公開と連動し、施設「空き状況お問い合わせ」フォームおよび一般お問い合わせフォームから、下半期36件の照会があり、3件が仮予約に繋がりました。  ②2月には東京で開催された「第34回国際MICEエキスポ IME2025」、3月には「地方都市コンベンション関連団体合同ワークショップ」に、(公財)岐阜観光コンベンション協会とともに出展し、複数団体と商談を行いました。  ③工事休館に入ってから、171回の営業活動を実施しました。</p> <p>2、利用者サービス向上を図るため、コンベンションサポートサービス等の充実・PRに努めました。  ①コンベンションサポートサービスの周知を図り、舞台花1件・弁当5件を受注しました。  ②下半期は団体3組を含む30組の方が視察・見学に来館されました。施設内を職員が案内するなどのサービスを行い、会議場の魅力をPRしました。</p> <p>3、利用者への情報提供に努めました。  ①長良川防災・健康ステーションや岐阜メモリアルセンターに対し、開施設時間に伴う駐車場管理を支援しました。また、都ホテル岐阜長良川と定期的に情報交換を行って、来場者状況等の把握に努め、利用者へ駐車場の混雑情報を提供しました。  ②工事休館の情報は、各催事担当職員からもお知らせしておりましたが、改めて過去3年間の利用者561団体に郵送でお知らせしました。  ③料金改定および経過措置の情報は、ホームページに掲載し周知しました。経過措置の対象となる予約済みの全利用者に催事担当者から連絡をとり、経過措置適用を済ませました。  ④メインホール客席数変更の情報は、特に有料公演において重要であるため、過去5年間のメインホール利用者191団体に、早めの情報提供として郵送でお知らせしました。</p> <p>4、防災に関する訓練を実施しました。  1月には、隣接する都ホテル岐阜長良川と共同消防訓練を実施しました。工事休館中においても初期消火・避難誘導を迅速かつ的確に行えるように、職員・委託スタッフに加え工事関係者にも参加してもらいました。  3月には、職員が避難訓練コンサートに参加し、イベント開催時の避難について学びました。</p> <p>5、施設・設備の点検・修繕に努めました。  下半期は、経年劣化による修繕も多く、「ガバナールームガス漏れ火災警報設備機器修繕」、「地下駐車場排気ファン修繕」などの修繕を行いました。また、再オープンを見据えて、改修工事に含まれない外観上の改良をするため、「第4会議室窓ガラス入れ替え・フィルム貼り修繕」や「クロックカウンター仕上更新修繕」などを計画的に実施しました。</p> <p>6、自主(共催)事業を開催・実施しました。  2月14～15日に共催事業「第22回全日本学生落語選手権『策伝大賞』」、2月16日に共催事業「文枝・志の輔春待ち二人会」を、工事休館のため会場を変更し、岐阜市民会館および岐阜市文化センターで実施しました。</p> <p>7、改修工事の円滑な実施に協力しました。  12月から始まった改修工事では、2週間に1回の定例会議に管理職が必ず参加し、進捗状況の把握、工事側との情報交換、利用者目線での提案をしました。</p>
<p>前回までの意見を 踏まえた取組み状況</p>	<p>&lt;前回意見&gt;  <b>委員会</b>：大規模改修工事に際しては、利用者目線に立った施設改修を行っていただきたい。  <b>所管課</b>：施設は12月から工事に伴う休館に入るが、再開後の利用増加への更なる取組みや、既存業務の改善、工夫に意欲的に取組み、効率的な施設運営に努められたい。</p> <p>委員会→長年多くの利用者から要望のあった、お手洗いへのウォシュレット導入について、改修工事の中で全ての箇所に設置いただけることになりました。また、メインホール客席には通常客席12席分の車いすスペースがありましたが、合理的配慮の観点からも拡大を要望しており、3倍となる通常客席36席分のスペースに拡大いただけることになりました。さらに、これまで館内に独立した授乳スペースがなく、臨時的な対応を長年続けていましたが、要望により授乳室を新設いただけることになりました。</p> <p>所管課→利用増加への更なる取組みとして、毎月の訪問営業活動を予定化し、リピーターや新規団体へのPRを確実に実施しています。また、既存業務の改善として、メインホール客席の子供用クッションについて、台車を自主製作し、主催者への貸出を始めました。</p>
<p>今後の取組み</p>	<p>1、新たな利用者の開拓とリピーターの確保に努めます。  休館中も再オープン後に向けて、計画的な営業を実施し、リピーターの予約受注や大規模な大会・会議や学会等の誘致に取り組めます。7年度上半期にも、「地方都市コンベンション関連団体合同ワークショップ」への参加を予定して、東京における営業活動を行います。</p> <p>2、防災に関する講習・訓練を計画しています。  7年度上半期は単独での消防・防災訓練を実施予定です。また、浸水防止計画に基づく止水板設置訓練を実施予定です。</p> <p>3、施設・設備の点検・修繕に努めます。  故障や不具合の早期発見を心掛け、迅速な修繕を実施します。引き続き、指定管理者として改修工事定例会議に必ず参加し、現場目線・利用者目線での提案・協力をしてまいります。</p> <p>4、再オープン準備を進めます。  パンフレット・料金表・ホームページの更新や、内覧会・再オープン記念事業の準備を進めます。また、施設予約システムのオンライン化による利便性向上に向けて、仕様の検討を進めます。</p>

## ●所管課の意見

- ・施設の管理運営は、適切に実施されている。
- ・引き続き、再開後の利用増加への更なる取組みや、既存業務の改善、工夫に意欲的に取組み、効率的な施設運営に努められたい。

## ●指定管理者評価委員会の意見

- ・再開される令和8年度から安定的な運営ができるよう努めていただきたい。